

既存下地	アスファルト防水	改修仕様	NCA-503TC
採用理由	既存アスファルト防水の表面劣化がひどく、ひび割れ、浮きが多く見られた。側溝部分は全撤去し、床の表層浮きは部分撤去して樹脂モルタルにて充填補修した。また、断熱材から浮いている箇所はアンカープレートにてスラブに固定して、NCA-503TC工法にて改修を行った。		

施工現場全景



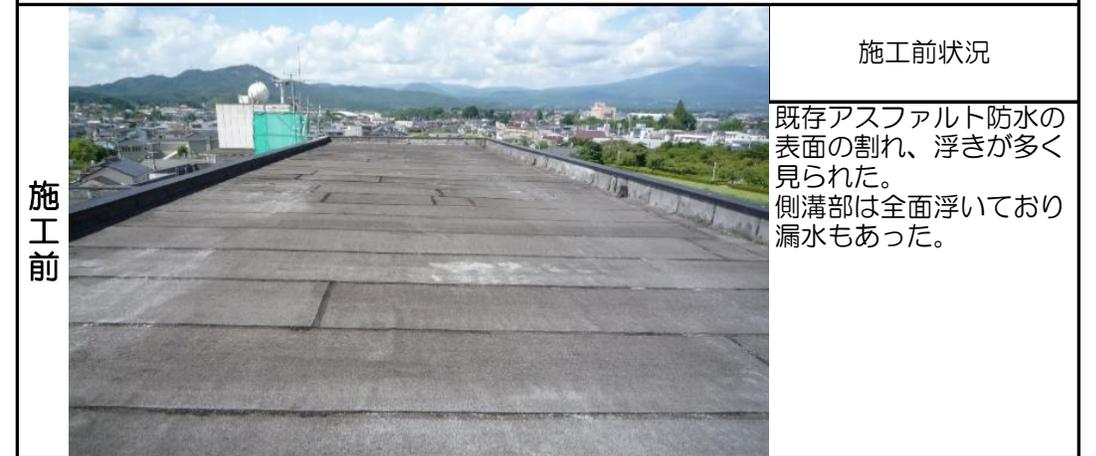
施工前



施工後

物件	多目的ホール屋上防水改修工事					
面積	平面部	975 m ²	立上り部	155 m ²	合計	1,140 m ²

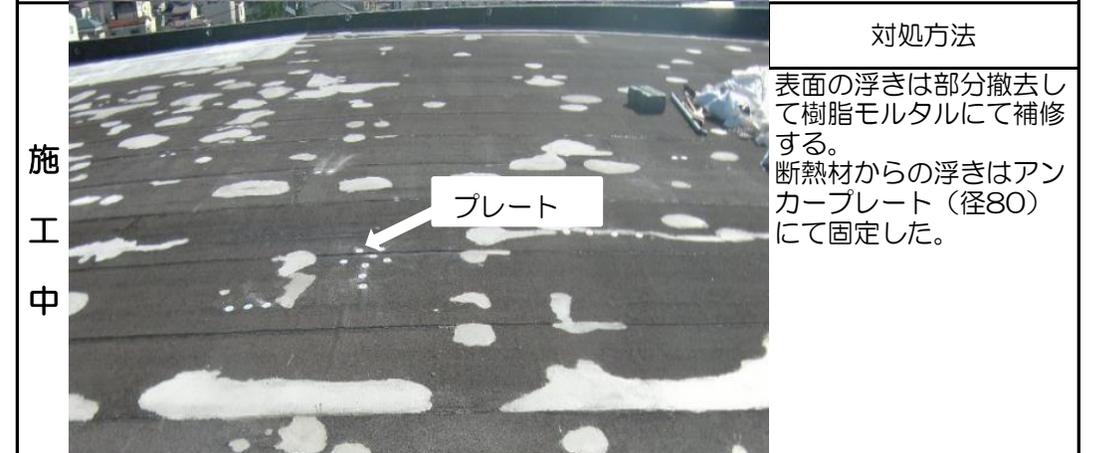
ドレン周り、部分処置部分



施工前

施工前状況

既存アスファルト防水の表面の割れ、浮きが多く見られた。側溝部は全面浮いており漏水もあった。



施工中

対処方法

表面の浮きは部分撤去して樹脂モルタルにて補修する。断熱材からの浮きはアンカープレート（径80）にて固定した。



施工後

完成の状態

段差や大きな浮きが目立たなくなった。